

事業の基礎情報

実施主体	鹿部町
事業実施地域	鹿部町
共創の類型	官民共創
他分野共創の類型	
共創パートナー	有限会社 北海道・函館moomoo-taxi
運行形態	・乗合タクシー・デマンドバス・2号ライドシェア・町直営運行等
運行主体	有限会社 北海道・函館moomoo-taxi・鹿部町

取組の概要

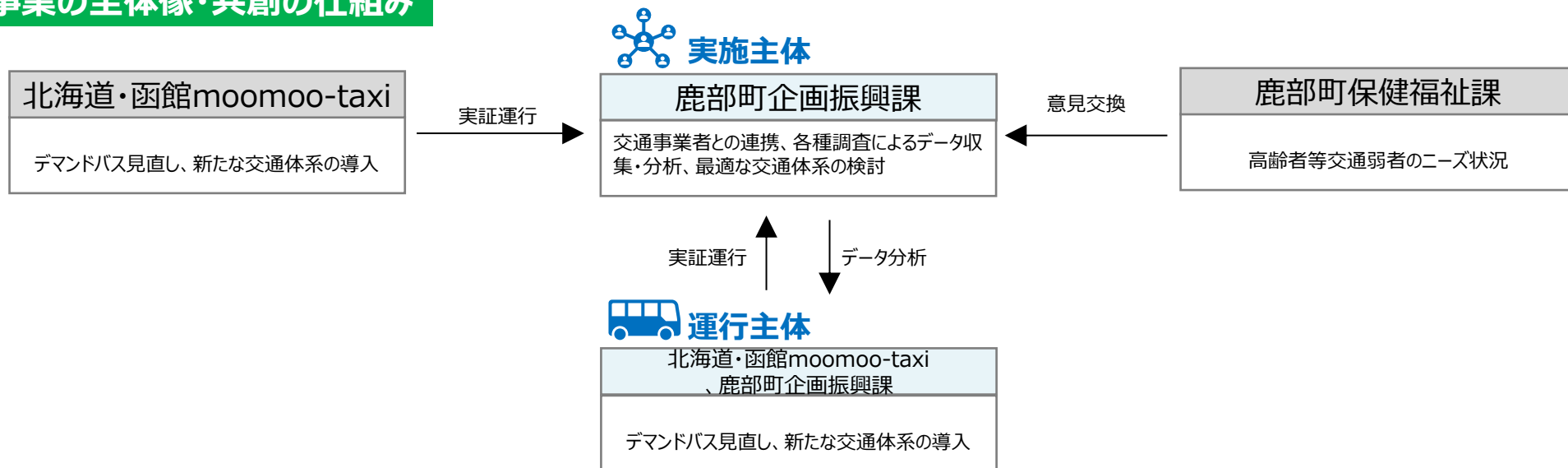
(現状の地域課題と事業目的)

- ・公共交通の利用低迷による財政負担の増加及び交通弱者対策。
- ・路線バスの再編、デマンドバス運行、タクシー誘致等を実施してきたが、全町的に高齢者の買い物、サークル活動等の生活の移動手段としての需要をカバーしきれていない。(特に高齢化が進む路線バスが運行しない地域の住民から、希望する時間の自宅から目的地への直接運行に関する要望が多い。)
- ・バス事業者はドライバー不足と高齢化により、行政支援なしでの地域公共交通維持が難しい。
- ・既存交通の見直しと新たな交通体系の導入も含め、財政負担を抑えた最適な交通体系を構築する。

(事業の概要)

①交通事業者、福祉部局と連携・協働し、②高齢者等交通弱者や住民の生活移動のニーズ調査等、各種調査によるデータ収集・分析をもって、③住民の生活移動に対応したデマンドバスの運行内容見直し、乗合タクシー、2号ライドシェア、町直営運行等新たな交通体系の導入も含めた実証運行を実施する。

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

住民の移動ニーズ等を住民アンケートや各地域の中心メンバーに対するインタビュー等各種調査によるデータ分析の結果、効果的と考えられる運行方法について、既存交通の運行事業者である北海道・函館moomoo-taxi及び鹿部町企画振興課が、鹿部町保健福祉課と連携しながら新たな交通体系の実証運行を実施し、最適な地域公共交通の構築を図る。

(実証事業により見込まれる効果)

- ・年間の町内公共交通利用者数9,945人以上を維持し、交通弱者や住民の生活移動の需要に対応した地域公共交通の構築がされることで、移住・定住者の増加につながる。
- ・様々な交通体系の見直しにより町内の公共交通を効率化し、町の財政負担の最適化を図る。
- ・各交通事業者の運行内容を見直し効率化することで、持続可能な交通体系の構築が図られる。

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

関係者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
鹿部町	交付申請	調査					実証①				実績報告	
Moomoo-taxi							実証①					

(補助事業実施後の予定)

各種調査、実証の情報や技術の蓄積をいかして、高齢者の買い物、サークル活動等の生活の移動手段を確保し、最適な交通体系を構築するための取り組みを継続して実施する。

・運行費用と利用者数の状況を確認し、既存交通の見直しと新たな交通体系の導入により、ドライバー不足への対応や通学、高齢者の生活の移動手段の確保等ができる継続的な取り組みが可能と判断した場合は、本格運行に向けた準備を進める。